
チート様のお通りじゃあああああ!!!!

リイネ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

チート様のお通りじゃああああ！！！！！！

【Nコード】

N3407K

【作者名】

リイネ

【あらすじ】

女の子を助けて代わりにトラックに轢かれた！！！と思ったら女神さまにあって、これは神様達のミスによるものらしく転生させてもらったぜ！！ラッキー。

ソウルイーターの二次小説を読んだこと無いので書いちゃいました。

トラックなんかきらいだあああ！！！！

今、俺は宙に浮いている上体で“元”自分の体だったと思われる物体を見下ろしています。

えっ？何を言っているのか分からない？そんなもん俺だってわからねえよ！！！調子乗ってすみませんだから帰らないでください。

「あの……」

ああ、まじどうなってんだよこれ。あれだろ、さっきまで夕飯の買出ししてて、帰ってたらトラックに轢かれそうな女の子を見つけて危ないって思ってたら勝手に体が動いてて、女の子助けたと思ったら俺が間に合わなくて俺が代わりに轢かれてぐちゃぐちゃってなっ
て……

「あの、すみません……」

って死んでんじゃない！！！完璧死んでんじゃない！！！なんだよぐちゃぐちゃって！！むちゃくちゃぐるいじゃん！！！だからこんな状態になっただのかよ！！！ってかこれっ俺幽霊？

「あのぉ……」

「あ、なんだよ今俺今忙しいんだから後にしてくれ！」

「あ、すみません……って違うんです！！いい加減話し聞いてください……！！」

なんなんだよさつきから。うるせえ奴だな。とか、これが俗に言う乗り突っ込みか？とか思いながら後ろを向いたらなんか美女がいた。なんか女神って言葉がしっくりくるような感じの人だ。周りに光舞ってるし。

「ん？なに？さつきも言ったけど俺今この状況をどうしたらいいか考えるのに忙しいから用があるなら手短かにね。」

「あの、えっと、すみませんでした。」

いきなり女神さん（仮）が誤ってきた。凄く綺麗な頭の下げ方だと思えます。

「えっとなんで誤ってんですか？」

「じゃあ、なんか転生以外で特典とかないの？そっちのミスで俺死んだんだから勿論あるっしょ？」

「それならあります。まあ特典といっても貴方が言った願いを5つまで叶えるという物と何処に転生するかは貴方が決められることとオプションで無限の魔力に気、その他そういう系統に属する全てのエネルギーに無敵の身体能力、不死不老の体、因みに年は自分で変更できます。容姿も自分で決められます。と、これくらいですかね……」

よっしや来た！！彼女もいねえし親はもう死んでるし友達って言うる友達もいねえし、この世に未練なんかたらたらねえし（なんか俺悲しい人生送ってんな）。転生まじ最高！！！！

「なあ、それさ、転生ってアニメとか漫画とかの世界にもいけんだろ？」

「はい、いけますよ。」

「それと、世界ってもしもの数だけあるっていうじゃん？それほんと？」

「まあそうですね、確かにもしもの数だけ世界は存在します。しかしそれを聞いてどうするのです?」

「ん、まあ俺の質問に答えてくれたら時期に分かるから。でさ、漫画とかの登場人物が子供のとくに死んでたらって感じのもしもとかもあるの?」

「確かにそうい世界もありますね。」

「つしゃあ来た!!!!!!ん?俺がなんでこんな事を聞いているのかって?それはまあ読んでくれてたらいずれ分かる。」

「じゃあその死んだ登場人物に憑依とかできる?」

「生きているのならまだしも、死んでいる人物になら可能です。既にその人物の魂はその身体(入れ物)にははいつていませんから。」

よしつ、転生場所は決定。お次に能力は…

「能力なんだけど、1つ目はアニメや漫画、ゲームなんかに出てくる技や能力、魔眼とかをえるようにすること。2つ目はアカシックレコード。3つ目はアニメや漫画、ゲームなんかに出てくる武器や薬品とかを自由に出し入れできるような技。4つ目は超直感。5

つ目は想像を創造する技。これはオプションで想像力とか上げたいで。」

「凄い事になりましたね。まあいいでしょう。では…」

女神（仮）がそういうと俺の足元に魔方陣のような物が出現し、俺を光が包んだ。そして光が消えると途轍もない力が俺の中にあることに気が付いた。

「すげー！！すげーよこりゃあ！！！！」

「いろいろな力を全て把握するのは難しいと思ったので、全ての力の源を一つに纏めています。」

「サンキュー。で、肝心の転生先なんだけど、ソウルイーターのブラックスターがもし昔。一族が死んだときに一緒に死んでいたらって世界の死んだ直後のブラックスターに見ただけそのまままで憑依って感じにして欲しいんだけどできる？」

「随分具体的ですね。それならいけますね。先ほども言いましたが死んでいる人物になら可能ですので。」

よっしゃ！！俺ブラックスター大好きなんだよな。他の作品とかで

も良かったんだけどあんまり同じところいっても面白くないし、ソウルイーターの二次小説とか見たこと無いしな。

「じゃあ早速お願い、女神さん（仮）。」

「何故私が女神かわかったのかは聞きませんが。わかりました、ではいきます。」

あつてたんだ女神で…

そんなことを俺が思っているとまたまた俺の足元に魔方陣らしき物が現れて次は俺を光の粒に変えていった。そして俺が消えそうになったとき…

「貴方に幸あらんことを…」

女神さんのその声を最後に聞き、俺は闇に落ちた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3407k/>

チート様のお通りじゃあああああ!!!!

2010年10月11日15時19分発行